

高病原性鳥インフルエンザが国内で発生！！！！

10月28日に岡山県及び北海道、11月1日に香川県の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）が発生しました！！！！国内の養鶏場で10月に発生するのは異例の早さです。

今シーズンはすでに野鳥等からHPAIウイルスが検出されていることから、環境中のウイルス量が多く、今後も全国各地で続発する可能性が高いと思われます。

熊本県では、毎年11月から翌年4月末までを、「高病原性鳥インフルエンザ特別防疫対策期間」として、HPAI発生予防及び早期発見などの防疫対策を強化しています。昨シーズン、国内の家きん（鶏、あひる、エミュー）では熊本県を含め12道県25事例のHPAIが発生し、国内の野鳥では8道府県107事例のHPAIウイルス検出がありました。

鶏飼養者の皆様におかれましては、飼養衛生管理基準の遵守等による農場内へのHPAIウイルス侵入防止対策の再確認を大至急お願いします。

<令和4年（2022年）シーズンの鳥インフルエンザ発生状況> （11月1日時点、農林水産省HPより、一部改変）

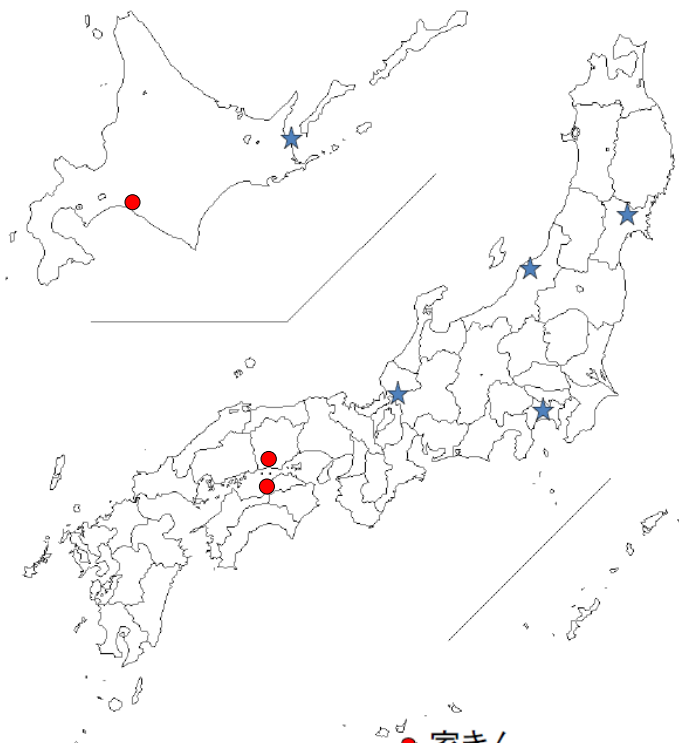
○野鳥 6事例

※詳細は環境省HP参照 https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/

	検体回収場所	検体回収日	種名	病原性	亜型
1	神奈川県伊勢原市	9/25	ハヤブサ	HPAI	H5N1
2	宮城県栗原市	10/4	マガン	HPAI	H5N1
3	福井県南越前市	10/11	ハヤブサ	HPAI	H5
4	北海道別海町	10/8	糞便(ガンカモ類)	HPAI	H5
5	宮城県栗原市	10/14	マガン	HPAI	H5
6	新潟県新潟市	10/16	ハヤブサ	HPAI	H5

○家きん 3事例

	発生場所	発生日	種類	飼養羽数	病原性	亜型
1	岡山県倉敷市	10/28	採卵鶏	約17万羽	HPAI	H5亜型
2	北海道厚真町	10/28	肉用鶏	約17万羽	HPAI	H5亜型
3	香川県観音寺市	11/1	採卵鶏	約4万羽	HPAI	H5亜型



※ HPAI: 高病原性鳥インフルエンザ
 LPAI: 低病原性鳥インフルエンザ

● 家きん
 ★ 野鳥 (検査中含む)

狩猟解禁！豚熱の感染拡大に要注意！

熊本県では、狩猟期間を以下のとおり定めています。

- イノシシ : 毎年11月1日から3月15日まで（県内全域）
- ニホンジカ : 毎年11月1日から3月15日まで（県内全域）
- 上記以外の狩猟鳥獣 : 毎年11月15日から2月15日まで

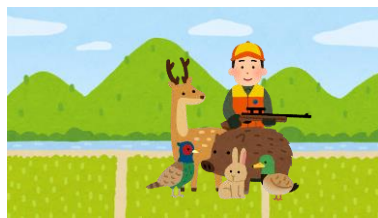
（詳細は熊本県HP→<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/52/2505.html>）

狩猟が解禁される約3か月間は、多くのハンターがイノシシ等を求めて山林に入り、時には県をまたいで猟をされる場合があると思われます。

国内では、平成30年9月の岐阜県における飼養豚での豚熱発生以降、本州の多くの都府県では、飼養豚のみならず野生イノシシにおいても豚熱ウイルスへの感染が多数確認されています。その感染拡大の要因のひとつとして、人を介した感染（靴底等へのウイルス付着）が否定できないと報告されています。

現在、九州内の飼養豚や野生イノシシから豚熱ウイルスが検出された事例は報告されていませんが、九州に近い山口県や高知県では、既に野生イノシシから豚熱ウイルスが検出されていることから、九州内への豚熱ウイルス侵入リスクが非常に高くなっていると思われます。

つきましては、狩猟、山菜採りやキャンプ等で山林に入られる方は、山林を離れる際の靴底消毒の徹底をお願いするとともに、豚飼養者の方におかれましては、引き続き飼養衛生管理基準を遵守され、農場内への豚熱ウイルス侵入防止対策の徹底をよろしくお願いします。



近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地（国）	畜種	発生年月日
高病原性 鳥インフルエンザ (HPAI)	H5N1	韓国	野鳥	令和4年10月13日
			種アヒル	令和4年10月17日
			肉用種鶏	令和4年10月21日
	H5	韓国	肉用アヒル	令和4年10月26日

令和4年(2022年)10月28日現在



毎月**20日**はくまもと家畜防疫の日

定期的な消毒を実施しましょう！

